

# えとこだより



ここにあるすべてを、  
かけがえのない「宝もん」へ。

津川町の川港に集積された筏・奥は麒麟橋(明治後期～大正期、提供:田辺修一郎氏)

もくじ

- 特集1 阿賀野川エコミュージアムを目指すー2  
流域再生フォーラム(第4回)開催レポート
- 特集2 新潟水俣病の記憶から遠く離れてー5  
映画「阿賀に生きる」阿賀野川週上計画  
・あがのがわ環境学習ツアー参加クラス募集
- 特集3 阿賀野川えとこだ!流域通信ー6  
・特集!阿賀野川ものがたり「イザベラバード」  
インフォメーション

## 阿賀野川の上流域から下流域までをつなぐ試みを

阿賀野川流域全体を舞台とした取組に欠かせない3つの考え方

「阿賀野川えとこだプロジェクト」(FM事業)では、上流域から下流域にかけて少しずつ展開してきた各地での取組が昨年度までに一通り完了し、今年度からは阿賀野川流域全体を活動の舞台として、今後の集大成を意識した新しい試みを展開いたします。

具体的には様々な企画を構想していますが、どの取組を展開する際も、これまでのFM事業で培ってきた3つの考え方を重視しています。その3つとは、まず前号の巻頭言で言及した①「阿賀野川流域の過去をどう生かしていくか」②「これからの時代にどうすれば必要とされるか」そして新たに③「阿賀野川の上流域から下流域までをつなぐ試み」です。

これらの観点すべてを各取組にもれなく反映させていくのは制約が多く効率的でもないため困難が予想され、実際にはどれか一つを強調した取組になるかもしれません。しかし重要なのは、これら3つの観点をまずはできるだけ組み込もうとする試行錯誤であり、それは新潟水俣病の公式確認から50年を迎える来年に向けた取組においても同様に必要なと考えます。



## 新潟水俣病が 教えてくれたもの 中学校編 作成しました!

新潟水俣病が 教えてくれたもの  
～人間の活動と環境のかかわり～

新潟県では、中学校社会科[公民]学習用のリーフレット「新潟水俣病が教えてくれたもの [中学校編]～人間の活動と環境のかかわり～」を作成しました。

新潟水俣病のあらましがわかりやすくコンパクトに学べます!



産業活動により排出された有害物質で引き起こされた新潟水俣病 人間の活動と環境との関係を考える教材になっています

### ● 新潟水俣病を理解する4つのポイント

- ① 経済発展の光と影
- ② 新潟水俣病の発生と身体的被害
- ③ 新潟水俣病の社会的被害
- ④ 新潟水俣病の教訓を伝えるために

■ リーフレットが必要な場合はお問い合わせください。

**印刷物** 新潟県立環境と人間のふれあい館 — 新潟水俣病資料館 —  
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451

**データ** <http://www.pref.niigata.lg.jp/seikatueisei/1356782007195.html>



## 「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

### 阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

## 編集後記

第13号はいかがでしたでしょうか?  
前号の編集後記では、「平成26年度から阿賀野川流域全体を活動の舞台として、今後の集大成を意識した新しい形の取組へと移行していく予定」と申し上げました。今号ではその最初の取組として、阿賀野川流域の過去と現在を情報発信しつつ未来へとアーカイブしていくため、「阿賀野川えとこだ! ブログ」から総合的なポータルサイトへの大幅なリニューアルを取り上げました。  
また今号でも触れましたが、来年5～6月に新潟水俣病の公式確認・発表から50年を迎えます。それに向けたFM事業の最初の取組について、次号にてお伝えする予定です。

阿賀野川えとこだより 第13号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2014年8月1日  
企画編集:一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX.0250-68-5424  
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信

<http://www.aganogawa.info/>

リニューアルしました!

